

重ねるハザードマップの利用法

・ 洪水

透過率: 20%

国土地理院

使い方 利用規約 ホーム

選択中の情報

災害種別で選択

洪水 土砂災害 津波

※浸水深の凡例の違いについて

すべての情報から選択

全表示 全非表示 全削除

表示

災害リスク情報 > 洪水浸水想定区域 (想定最大規模)

解説

標高: -1.3m (データソース: DEM10B)

洪水浸水想定区域 (想定最大規模)
河川が氾濫した際に浸水が想定される区域と水深

凡例

0.3m未満
0.3~0.5m
0.5~1.0m
1.0~3.0m
3.0~5.0m
5.0~10.0m
10.0~20.0m
20.0m以上

注意点

このシミュレーションの実施にあたっては、支川の氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合や想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。

データの掲載状況一覧

「洪水」アイコンをクリックすると、洪水による想定浸水深が表示される。
「解説」アイコンをクリックすると、凡例（どの色がどの程度の浸水深か）が表示される。

・ 津波

透過率: 20%

国土地理院

使い方 利用規約 ホーム

選択中の情報

災害種別で選択

洪水 土砂災害 津波

※浸水深の凡例の違いについて

すべての情報から選択

全表示 全非表示 全削除

表示

災害リスク情報 > 津波浸水想定

解説

標高: 0m (データソース: DEM10B)

津波浸水想定

凡例

20m以上
10m以上20m未満
5m以上10m未満
2m以上5m未満
1m以上2m未満
0.3m以上1.0m未満
0.01m以上0.3m未満

注意点

このシミュレーションは現在の科学的知見を基に設定したものであり、この浸水域外で浸水する場合や浸水深がさらに大きくなる可能性がないというものではありません。

データの掲載状況一覧

データについて

「津波」アイコンをクリックすると、津波による想定浸水深が表示される。
「解説」アイコンをクリックすると、凡例（どの色がどの程度の浸水深か）が表示される。

・土砂災害

重ねるハザードマップ

例：茨城県つくば市北郷1 / 国土地理院

使い方 利用規約 ホーム

選択中の情報

災害種別で選択

洪水 土砂災害 津波

※浸水深の凡例の違いについて

すべての情報から選択

全表示 全非表示 全削除

表示 災害リスク情報>土砂
土石流危険渓流

表示 災害リスク情報>土砂
急傾斜地崩壊危険箇所

表示 災害リスク情報>土砂
地すべり危険箇所

表示 災害リスク情報>土砂災

標高：8.9m (データソース：DEM5A)

「土砂災害」アイコンをクリックすると、土砂災害の危険がある範囲が、種類別に表示される。
アイコンの右下の「▼」をクリックすると、最初は見えていなかった種類の土砂災害のボタンが表示され、それらのボタンをクリックすると、地図中の表示が非表示になり、もう一度クリックすると、再び表示される。